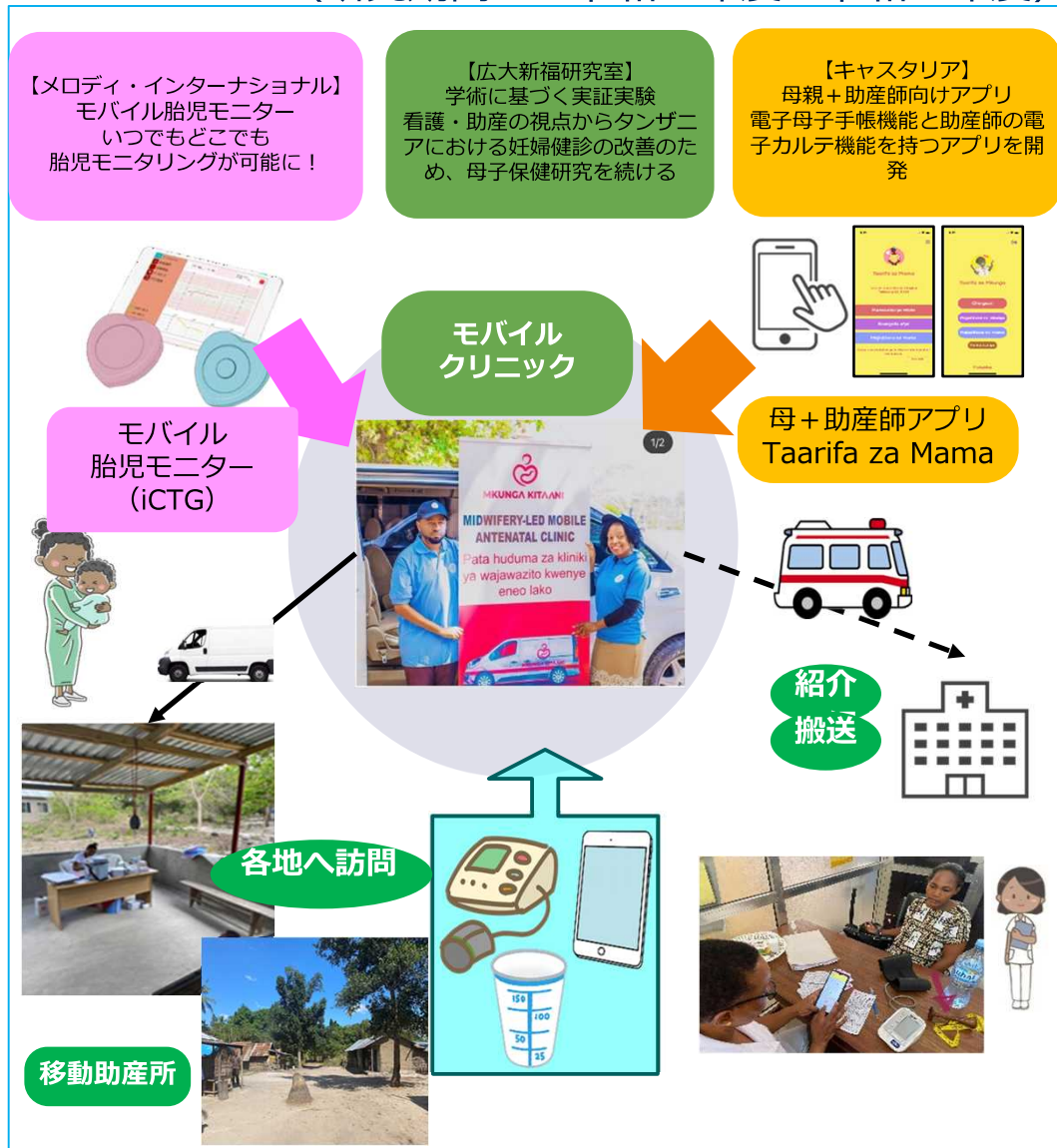


- ・分娩時のモバイル胎児モニターの活用よりも、妊婦健診での利活用が現実的である。そのため助産師の役割を中心とした、ニーズステートメントを掘り下げることが重要。
- ・アフリカ周辺国へのアプローチの仕方として提言。
- ・保健省との連携、JICAや大使館、国連への提案が重要。
- ・TMDAなど規制局との交渉が重要。

⇒**周産期死亡の低減を目指す**



周産期死亡低減を目指したモバイル型SNS連動胎児モニターの開発（タンザニア）

メロディ・インターナショナル株式会社 代表取締役 尾形 優子

（研究期間： 令和4年度～令和6年度）

研究目標

- タンザニアの周産期死亡率が高いのはなぜか？日本の周産期医療の技術(胎児モニタを含む)でそれが解決するのか？タンザニアの医療従事者へのインタビューや医療現場の観察、妊産婦等へのインタビューを通して、真のニーズを発掘し、そのニーズを定性的、定量的に把握し、周産期死亡低減の解決策を探る。

研究成果

- タンザニアでは、妊婦健診に携わる医療従事者のほとんどが分娩監視装置を認知しておらず、胎児モニタリングの必要性を感じている医師等は限られている。
- プロトタイプでの実証を行うために事前に現地の医療従事者へ研修を実施した。それによって、妊婦検診での運用が可能となった。
- また、MCでの妊婦検診に妊婦が来るためにアプリの新機能を追加した。

今後の展望

- 引き続き、移動式健診車での妊婦検診で妊娠・出産がハイリスクとなる人々の抽出と教育の提供を行う。
- 胎児の死亡率を下げるために今後は、分娩時に胎児モニタリングを行う。
- 令和6年度に医療機器承認を取得
⇒周産期死亡の低減を目指す

【メロディ・インターナショナル】
分娩監視装置iCTG
いつでもどこでも
胎児モニタリングが可能に！

【広大新福研究室】
看護・助産の視点から
タンザニアにおける妊婦
健診の改善のため、母
子保健研究を続ける

【キャストリア】
助産師教育アプリ、
電子母子手帳と助産
師と妊産婦のSNS機
能を持つアプリを開発



□□□□□□□□ (研究課題名) (△△△(国名))

〇〇株式会社〇〇事業部 〇〇 〇〇 (代表者のお名前)

(研究期間: 令和〇〇年度～令和〇〇年度)

研究目標

■ Text

研究の目標について、特に、
どのような公衆衛生上のニーズに
いつまでに対応しようとしているのか。
ご記入ください

研究成果

■ Text

■ ...

研究成果、現状、課題について、
可能な範囲で
ご記入ください

今後の
展望

■ Text

■ 今後の展望、特に薬事申請や上市
のタイミングなどについて、可能な
範囲でご記入ください

■ Text

■ ...

製品や研究課題の概要がわかる
写真や図を挿入ください

全て、外部に公表して差し支えない範囲で記載してください